

若者のための就職応援マガジン



ジョブナビプラス

Job Navi+

No.17

2021.10月号

Contents

- 01 働く大人へインタビュー
フリーライター 真境名育恵さん
- 05 りっか沖縄
U・Iターンで働こう
- 06 おしえて！キャリアくん
「業界研究」
- 07 セミナー情報
- 08 イベント情報
- 08 おすすめ本
「相手をイラッとさせない！メールの
好感度を上げるマナー&文例」



働く大人へインタビュー



世の中には、会社で働くこと以外にも、自分の“好き”を追求して仕事にしている大人がたくさんいます。その人たちの生き方から、これからの「働く」を考えるきっかけにしてみませんか？
今回は「縁ある人やモノの背後にある思いやストーリーを伝えたい」と、幅広く執筆活動を行っている、フリーライターの真境名育恵さんにインタビューしました。



Profile

真境名 育恵（まじきないくえ）

職業：フリーライター

沖縄県那覇市出身。

沖縄国際大学国文科卒業。

ローカル雑誌ライター／環境保全NPO職員
／教育委員会／沖縄産ソーシャルメディア
企画・編集。

向こう見ずな性格ゆえ様々な職を経て
2012年、フリーランスライターとなる。
シンカイ企画代表。

書くことへのきっかけ

メディアに初めて携わったのは、大学卒業前に経験した県内ラジオ局でのアルバイト。当時、ラジオ番組のリクエスト受付はFAXと電話が主流で、電話で話を聞きながらその場で文章化したり、送られてきたお便りを読みやすく手直ししたり、読みにくい漢字にルビをふってパーソナリティの方に渡すという仕事でした。

書くことは好きでしたが、「自分に適性のある仕事に就こう」と考えたのは大学卒業後でしたね。

ライターとしてのスタートライン

初めてライターとして働いたのは、知り合いのカメラマンさんに紹介されて入った、タウン誌の会社。その会社があった地域は、沖縄初のシネマコンプレックス（映画館）ができて、新たな観光地として勢いがあった時期でした。

私は主に広告用の記事を担当しましたが、美容師さんが出演するイベントレポートなど、ジャンル問わずいろいろな経験を積みさせていただきました。

同じ頃、沖縄の音楽的カルチャーをコンセプトにしたストリート系のカッコいい雑誌が注目を集めていて、こんな雑誌が作りたいと憧れていたんです。

広告ではなく自分の言葉でレポート記事を書きたくて、その雑誌を制作している会社に転職しました。

ライブレポートを書くため夜中にライブへ行ったり、国際通りを歩いているおしゃれキッズを呼び止めてストリートスナップを撮ったり。ライターだけどカメラマンもやりましたね。一眼レフで確実にモノを撮ってフィルムを現像し、短期間で全ての記事を仕上げるために、日々追われて大変でした。

書くことから一度離れて、別の仕事へ

その雑誌では、様々な現場取材して今に繋がる基礎をつけてもらったのですが、業界ならではの労働条件の厳しさと現場のスピード感に疲れてしまったんです。

当時は書くことから離れたくて、一回リセットするつもりで関係のない仕事をしようと、県外に行き、デパートの催事場などで働きました。

沖縄に戻ったのは20代後半。河川環境保全のNPOが募集していた「地図の作成」の求人をハローワークで見つけ、面白そうだと直感的に思って応募しました。

書く仕事をやり遂げられなかったという後悔があって、もうあの業界には戻れないと私が勝手に思い込んでいたのですが、**別の仕事でも書くことに携わりたかったんでしょうね。**

その後は、教育委員会の社会教育指導員を経て、「県産ソーシャルメディア」を販売するプロジェクトに関わる会社でサラリーマン生活を終えました。

読書会とTwitterがつないだリスタート

失業保険をもらいながら過ごしていた頃、私は社会と繋がっていたい人間だと気づかされました。30代になって、結婚して妊活を考え始めていた時期ではあったけれど、仕事をしていない自分に価値を見出せなくなっていました。

そんな時、古書店主の方が開いた読書会で、2009年から始めたTwitterで交流していた方と偶然出会ったんです。その方が、豊見城市にある沖縄空手会館の事業に携わっていて、文化的な側面から沖縄の空手家たちにインタビューする事業を担当していることを知りました。その方から、ライターとして参加してみないか、と声をかけられたんです。

私の父親と叔父が、剛柔流という沖縄の伝統的な空手をやっていたこともあり、父親のルーツをたどる意味でも、「書けるかもしれません」と引き受けました。

2011年から取材し、2012年に成果物が仕上がったのですが、



書いた文章に一定の評価をいただけた経験から、「フリーランスとして執筆活動をしてみようかな」と思ったのが始まりです。正社員で働くという選択肢もあったけれど、妊活をしながら、単発で働けることが、私にとってはベストな選択でした。

翻訳家のように伝える媒介者

現在はWEB媒体のお仕事メインになりましたが、昨年まで県内の情報誌で6年ほどライターをしていました。原稿を書くだけでなく、毎回10~20件の取材先にアポを取り、同行するカメラマンさんのスケジュール調整なども行いながら、ひたすら取材の日々を送りました。

商業ライターは、広告を出してくれたり取材させてくれるお店があって、**その人達が伝えたいメッセージを、翻訳家のように伝える「媒介者」であることが役割**。個人のブログのように好きなことを書いているわけではなく、（読者が）興味をもってくれるような記事を書くことが大事です。

取材では数々の面白い店主さん達に出会いました。例えば、大学教授をしながらコーヒー店のオーナーをしている方とか、その人達の経歴やヒストリーがとても面白い。情報誌では指定された文字数で、その雑誌ならではのテイストを求められますが、私はその文字数からはみ出る話を聞きたくて、記事にはできなくても相手の方のお話をずっと聞いていましたね。

会う前に相手のことを知っておく

ライターを続けて10年経ちますが、書くだけでなく、インタビュアーとしての力量も求められてくるようになりました。企業の社長さんにインタビューする仕事では、経済やその業界の動きも知っておく必要があるんです。例えば、建築業界なら、業界のシェアをどの企業が担っているのか、大きな工事をどこが請け負っているのか事前に知っておくことも大切です。そのため、事前に企業のサイトを調べて、創業者の理念や会社の沿革にも目を通し、限られた時間でどこまで話を引き出そうか考えます。

基本的に、相手のことは会う前に知っておくということが大前提。話をガイドできるインタビュアーとしてもっと勉強が必要だと痛感しています。

目標は「何を書くかより誰が書くか」

田中泰延さんの『読みたいことを、書けばいい』という、私を書く基本に戻してくれたバイブルがあって、「この人に書いて欲しい、って思われる人にならなければいけない」と書かれているんです。つまり「何を書くかより誰が書くか」ということ。

現在、県内で長年活躍するファッションデザイナーの自叙伝を手掛けているのですが、

そのお仕事をきっかけにブックライター*のほうにシフトしていきたいです。そういう意味では「あなたに書いて欲しい」と言われるような書き手になりたい。

今、書くことからかけ離れているようなコンテストにも挑戦しているのですが、これからも自分が面白いと思ったことにチャレンジすることが、自分の可能性への投資になると感じています。

*ブックライター…著者となる人取材し、著者に代わって書籍の執筆を行う人のこと。

興味のあることに飛び込んだもの勝ち

私は地図作成の仕事から道がひらけてきたので、「何をやればいいのかわからない」と悩んだら、興味あることを片っ端からやってみるといいと思います。

面白そう、やってみたいと、1つでもひっかかるものに飛び込んだもの勝ち。終身雇用制度も終わったと言われ、少子化や人口減少も進んでいる中、1つの会社に一生いられる保証はないですね。コロナ禍前から、1つの仕事だけではないパラレルキャリアの方も増えてきているように思います。

今はリモートワークが発達している分、どこにいても仕事ができ、インターネットで世界とつながることができる。

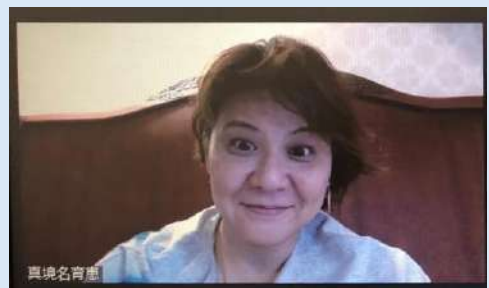
外に向けての発信力が強い人達と出会ってきたけれど、**どの組織や現場にいても、仕事を面白がれるかどうか、自分の好奇心ややりたいことをどこまで貫いていけるかは、自分次第だ**という気がしています。

私の場合は、書く機会に恵まれていて、ある意味書くことしかできないからやり続けているだけの話。書くことに携われているから続けていられることもありますね。

「記事の文字数からはみ出る話を聞きたい！」という言葉がとても印象的だった真境名さん。これまで関わってこられた多くの人との繋がりや、その人たちの個性・背景が、たくさんのエピソードから伝わってきました。いろいろな人の思いを汲み取り、文章で伝えていく使命。ライターとは「相手を知る」仕事でもあるのだと感じます。

自分自身の生き方やキャリアを考えると、自分の興味や好きなこと、偶然の出会い、ひとつひとつのきっかけを見過ごさないことが、次の一步に繋がっていくのですね。

真境名さん、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました！



※インタビューはリモートで行いました。



りっか沖縄

Uターンで働こう



りっか沖縄

とは・・・沖縄県内の中小企業における人材不足の解消に向け、県内外に相談窓口を設置して情報提供や企業とのマッチングサポートを行っている沖縄県の事業です。

サポートの特徴

01

登録企業200社以上

サポートセンター那覇を中心に、細かな企業情報を収集し、東京・大阪サポートセンターと共有しているため、リアル情報が満載です。



02

生活に関するQ&A

日常生活のあるあるなど、沖縄での生活文化・風土などもHPで紹介しています。



03

沖縄県外の各地域で企業説明会や相談会を開催

東京・大阪のサポートセンターが中心となり、説明会等を開催。沖縄まで足を運ばなくても、人事担当者や自治体職員などから直接お話を聞く機会を提供しています。※

※新型コロナウイルスの状況により、オンライン開催等、変更が生じる場合があります。

このような方々のお役に立ちます



県外で就職して数年経つが、沖縄に戻って働ける会社を探している



沖縄への移住計画があるが、どんな仕事があるのか？不安



沖縄県内企業で、インターンシップができる所を探している



県外大学へ進学。就職は沖縄で考えているためUターン就職の仕方を教えてほしい

相談窓口

沖縄Uターン就職サポートセンター

- 那覇（琉球新報開発ビル7F）
- 東京（銀座わしたショップ本店内）
- 大阪（沖縄県大阪事務内）

※東京・大阪以外にお住まいの方もご利用可能です。
《ご予約をいただくとスムーズです》

詳しくはこちら

りっか沖縄HP

<https://uiokinawa.com/>



沖縄で働きたいけど・・・企業情報や求人情報がわからないというみなさん、まずはサポートセンターへ気軽に問い合わせしてみても？
スタッフとの会話を通じて考えを明確にし、行動に繋がることもありますよ。

りっか沖縄 LINE公式アカウント友だち募集中！！

沖縄の求人情報や就職イベント情報をお届けします。



おしえて！ キャリアくん



就職活動に欠くことのできない業界研究。
“業界”という広い分野だけに「どこまで
やったらいいの？」ってなるよね。
まずはプロセスを確認してみよう！

1 業界研究の目的とは

業界について知り、就活における**自分の考え方や活かせる強みなどの共通点を探す**こと

世の中のトレンドを
けん引している

▼
広告や
出版業界など

= 好奇心があり、
新しいことに
挑戦したい
私にぴったり



生活に必要不可欠な
商品・サービスを提供

▼
インフラや
食品業界など

= 誰かの役に立つ
ことは自分に
とって大切。
やりがいがありそう。



2 知っている業界や興味のある分野から、広く業界をしてみる

まずは、知っている業界や興味のある分野
から見てみよう！

point 2 求められる資質や人物像、どんな職種があるのか調べて整理する

- ☑業界セミナーや個別説明会に積極的に参加
- ☑業界や会社が公開している情報や業界マップなどを読んで想像してみる

point 1 業界のどんなところを見ていくか？

- ☑どのような**ビジネスモデル**？
- ☑どのように**価値・利益**を生み出している？

3つの観点から見てみる 🔍

① だれに



お客様は誰？

② 何を



どんな商品？
サービス？

③ どうする



直販？仲介？
提案？提供？

point 3 業界と業界のつながりを意識する



ホテル
(観光業)

- IT業 (情報システム系)
- 施設メンテナンス
- 旅行業界など



小売業

- 製造業
- 卸売業
- 広告業 など



どんな人たちと関わって仕事を
していくのかイメージしやすくなる！

3 興味ある業界が出てきたら、企業を見ていこう

- 経営者の言葉は？
- 理念は？社風は？
- 付加価値
- 将来の事業展開
- キャリアパス
- どんな人たちが働いている？ など

同じ業種でも**企業によって特徴**がある

興味のある会社と同業他社、両方の説明会に
複数回参加して、**比較・検討**してみよう。

企業が絞り込めて、**志望動機も深まる!**

自分との共通点がはっきりしない時は…

「何となく気になるな…(笑)」から取り掛かってOK。
それが**自己理解を同時に深める**ことになるよ。

モヤっとしたときは誰かに話して
みることで気持ちや考えも整理で
きるよ。
自分の進めやすい就活スタイルを
見つけられるといいね♪





場所

●グッジョブセンターおきなわ内
セミナー室

セミナー

最新情報
はこちら

キャリアサポートセミナー

参加
無料

応募書類を書く前に	10月 6日 水	10:30～11:30	定員 12名
職業への興味と自信発見！	10月 6日 水	14:30～15:30	定員 12名
面接のポイント	10月 8日 金	10:30～11:30	定員 12名
ここで再確認！名刺交換	10月 8日 金	14:30～15:30	定員 8名
職務経歴書作成のポイント	10月13日 水	10:30～11:30	定員 12名
自己分析 ワークで自分再発見！	10月13日 水	14:30～15:30	定員 12名
電話対応のマナー（基礎編）	10月15日 金	10:30～11:30	定員 12名
就活開始！・・・その前に	10月15日 金	14:30～15:30	定員 12名
ビジネスコミュニケーション	10月20日 水	10:30～11:30	定員 12名
仕事選びのポイント	10月22日 金	10:30～11:30	定員 12名
面接試験を受ける前に	10月27日 水	14:30～15:30	定員 12名
丁寧な文字で履歴書印象UP	10月29日 金	10:30～11:30	定員 8名
気持ちの上手な伝え方	10月29日 金	14:30～15:30	定員 12名

※対象：15歳からおおむね40代前半

Webセミナー

参加
無料

リフレーミングで健やか人間関係	10月 1日 金	14:30～15:30	定員 12名
Web就活のポイント	10月27日 水	10:30～11:30	定員 12名

※求職活動実績対象外

就職氷河期世代向けセミナー

参加
無料

ミドル世代のための 自分の“強み”のを見つけ方	10月22日 金	14:30～15:30	定員 12名
----------------------------	----------	-------------	--------

※対象：35歳～50歳までの方

就活イベント

主 主催 問 お問い合わせ 電 電話番号
 ※掲載情報は10月6日以降の情報です。

タイトル・対象	日時・場所	主催・お問い合わせ
適職発見フェア ハイブリッド合説 【北部エリアのお仕事】 すべての求職者（新卒学生含む）	10月 8日 (金) 13:00～16:00 名護市民会館	主 沖縄県 問 適職発見プロジェクト事務局 (株求人おきなわ 内) 電 098-860-8900
適職発見フェア ハイブリッド合説 【八重山のお仕事】 すべての求職者（新卒学生含む）	11月 19日 (金) 13:00～16:00 石垣市民会館	主 沖縄県 問 適職発見プロジェクト事務局 (株求人おきなわ 内) 電 098-860-8900
【第2回就活パワフルサポート合同就職 説明会・面接会】 2022年卒業予定の高校生・大学・短大・能 開大・専門学生・高等専門学校生等、新卒3 年以内の未就職者	12月 15日 (水) 11:00～16:00 沖縄コンベンションセンター	主 沖縄県 問 パワフルサポート事務局 (株琉球新報開発 内) 電 098-865-5270
適職発見フェア ハイブリッド合説 【宮古エリアのお仕事】 すべての求職者（新卒学生含む）	12月 16日 (木) 13:00～16:00 宮古島市未来創造センター	主 沖縄県 問 適職発見プロジェクト事務局 (株求人おきなわ 内) 電 098-860-8900

おすすめ本

相手をイラッとさせない！メールの好感度を上げる マナー&文例

杉本祐子著（主婦の友社）

企業や取引先との連絡手段として欠かせないメール。
 送信する時に「この言い方は失礼かな…？」と迷ったことはありませんか？
 本書では、受け取る相手が読みやすく、伝わりやすい文章のルール
 のほか、メールでありがちなミス防止策を実例とともに紹介！
 相手の表情が分かりづらいメールでも、表現を上手に使い分けて、
 文字のコミュニケーションをより円滑に♪



〒900-0021
 沖縄県那覇市泉崎1丁目20番1号
 カフーナ旭橋A街区6階
 グッジョブセンターおきなわ内
 （沖縄県キャリアセンター）

〈お問い合わせ先〉
098-866-5465
 利用時間/平日 9:00～17:00
 休館日/土日祝日、年末年始

〈編集・発行〉
 ・沖縄県雇用政策課
 ・(株)りゅうせきフロントライン
 ・沖縄県キャリアセンター